

田

中

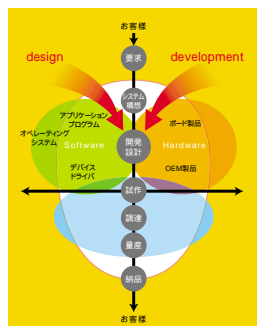
一義

Kazuyoshi
Tanaka株式会社アドバネットR&D
代表取締役社長
株式会社アドバネット相談役

開発能力の高さと製品サポート力を全面に 最新機器開発設計をリードする

受注から納品・保守までの一貫したサービスの流れを縦軸として、ハードウェアからソフトウェアまでの広範な技術力を横軸に展開する。それは「縦軸 = プロセス」の密度を高め、「横軸 = 技術の幅」を広げていくことで、標準品や特注品などという枠に収まらない、無限の可能性を秘めたEmbedded Solution companyを目指しています。

アドバネットは1981年の創立以来、EMS (Electronics Manufacturing Service) に開発・設計 (design & development) を加えた「EdMS」を掲げ、設計開発から試作・部品調達、量産、試験、検査まで一貫したフルサービスを提供する産業機器メーカーです。



アドバネットの製品は、家電量販店の店頭などに並んでいるわけではありませんが、技術の現場で活躍される方々の身近なところで関わりを持っています。特に、半導体製造装置ライン、医療機器、高速道路の料金自動収受システム (ETC) では開発実績をもとに多くシステムを手がけています。身近に直面する部分では、皆さんの生活の安心や便利を支える様々な装置の中で、しっかり大切な仕事をしているのです。医療機器やETCのように特別な用途に用いられる装置、特に健康や安全に大きく関わる装置の一部に組み込まれるコンピュータには、当然、パソコンとは違う、特殊な機能が求められます。

たとえば医療機器であれば止まらないこと。一見、あたりまえのようですが、パソコンではフリーズという現象を経験された人も多いため、医療機器ではそういったことが稀にも許されません。そのためには、製品の設計・開発段階で非常に高度で繊細な技術を求められるのです。アドバネットのEdMSは、高度な技術力を背景に、この設計・開発というプロセスでの提案力が高く評価されています。

● 問題提起に対する速やかな対応

製品品質にはこだわりを持っていても製造メーカーとしては、避けては通れない部分があります。その際に生じる問題を、いかにすばやく対応する顧客優先の徹底が周知されています。

特に経営者自らが自体を把握し前面に立って早期解決のために現場に伺い、取引先の不満と要望を徹底的に洗い出し、短期間で円滑な状態に改善していくことを企業理念としています。

ボード・ビジネスの世界では、用途に合わせたさまざまな規格が提供されているため、競業他社との違いを製品レベルで差別化することは難しくなります。そこで、当社が優位に立つためには「品質」「コスト」とクレームを先送りせず「クレームから逃げない」ことを徹底して行うことが必要と考え、そのための原因の究明と解析センターを設置しました。

有機物、無機物の解析装置とX線検査装置を導入、プリント基板の断線部分なども実装前に検出できるようになりました。こうした製品検証体制を作り上げたことによる高信頼性と顧客至上主義が、取引先への一番のサービスです。

● グループ各社の役割

アドバネットグループは、アドバネット社が営業企画および設計・開発をまとめる中心とした組織となっています。株式会社アドバネットR&D

組み込み用CPUボードの開発をはじめ、エンベデッド・ソリューションをトータルに提供する研究・開発部門。株式会社ハンテック

ボード製造の資材調達、量産、解析に特化しており、最新鋭のCIMラインとX線検査装置から各種解析装置を取り揃え最高の製品作りを目指す量産・製造部門。株式会社スピリット21

ボード製造の試作、検査、鉛フリーおよびRoHS対応に特化し、環境に優しい最新鋭のCIMラインで最高の製品作りを目指す試作・製造部門。

上記部門が各専門を担当し、それぞれに特色ある個性を持たせています。各社の規模と特性を、顧客からの要望や時代の要望に併せて拡大と縮小を自在に再構築することができます。

● 主要製品のラインナップ

<http://www.advant.co.jp/products/index.html>

CPUボード

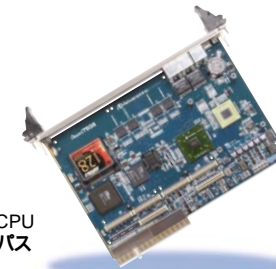
メモリボード

デジタルI/Oボード

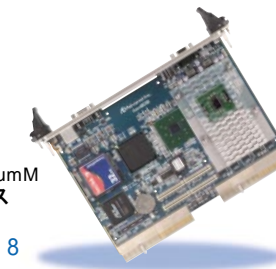
アナログI/Oボード

通信・制御ボード

DSPボード

PowerPC G4 CPU
Compact PCIバス
CPUボード
A6pci7508インテルLV PentiumM
Compact PCIバス
CPUボード

A6pci8018

インテルLV PentiumM
Compact PCIバス
CPUボード
A6pci8016

● サービスのあり方を考える日々を

EMSからEdMSへ。そして将来、我々の成長とともにまた新たな業態へと変わっていくことになるでしょう。そこにあるより高度なサービスを定義する言葉は、我々にもまだ見えてはいません。お客様の満足度を高めるために、真摯にサービスのあり方を考える日々を積み重ねることで、きっと見えてくるのだと、我々は信じて疑いません。

これからも、優れた少数精鋭の頭脳集団として陣容を拡充しEdMSカンパニーとして、アドバネットをよりハイグレード、ハイレベルな企業にしたいと考えます。